



木古内町観光協会
ホームページ



木古内町ホームページ

木古内町



薬師山から望む風景

勝海舟や福沢諭吉を乗せ、太平洋を渡り米国へ向かった「咸臨丸」が、木古内町の沖合に眠っていることをご存知だろうか。オランダで建造されたこの船が縁となり、オランダから贈られたチューリップが、毎年5月にチューリップ庭園で咲き誇る。

「木古内の町には様々なストーリーがあります」と、木古

内観光協会事務局長の藤谷晃章さん。藤谷さんの案内で町内を歩いてから海を望むと、これまで見ていた風景に歴史が織り重なり、ずっと奥行きのある景色に見える。

藤谷さんのお勧めは、薬師山から望む海の風景。「天気の良い日には、左手に函館山、右手に蛇ノ鼻岬を望むパノラマが広がります。春には山裾がシバザクラの絨毯に覆われ、海から上がってくる爽やかな風を受けると、とても気持ちが良いですよ」



星空と咸臨丸

ストーリーのあるまち



寒中みそぎ

木古内町観光協会事務局長 藤谷 晃章 さん

木古内町観光協会では観光案内をするほか、町歩きツアーガイドを務める。

元は木古内町役場の職員で、長年水産を担当していたが、機構改正を契機に観光に携わるように。「人前に入るなんて自分には向いていない」と戸惑ったが、今では「お客様の様子を伺いながら、今日はどんな話をしたら喜んでもらえるかな、と考えながらガイドをしています。」

木古内生まれの木古内育ち。古くからの町の様子を踏まえたガイドが好評で、戦時中に木古内で疎開していた縁で、「元気なうちにもう一度訪れたい」と町を訪れた年配の観光客を、昔の町並について解説しながら案内したところ、大変感謝されたことも。

「これからも町の魅力を掘り起こしていきたい」と語る。

道の駅 みそぎの郷 きこない



木古内町本町338-14
☎01392-2-3161

